

都市再生整備計画

なかつし みほ ちく
中津市三保 地区
(第4回変更)

おおいた なかつし
大分県 中津市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	なかつし 中津市	地区名	なかつし みほ ぶく 中津市三保地区	面積	24 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

基本方針・・・区域内の道路及び生涯学習・公共の福祉の場としての三保交流センターの整備により地域の活性化を図るとともに、緊急避難施設の耐震性強化を行い住民の安全・安心な環境を確保する。

1. 周辺の自然環境に調和した住環境の整備及び三保小学校体育館改修工事により、耐震強化を図り安全・安心な居住環境を整備する。
2. 三保地区の中心地に三保交流センターを整備し、市民交流を図ると共に生涯学習及び福祉利用の増進をも促進する中核施設とする。
3. 古森隣保館にエレベーターを設置し、利用者の利便性を向上し利用を促進する。

平成18年11月

まちづくりの経緯及び現況

中津市三保地区は、人口約2,900人、中津市北部(旧中津市においては、南西部)に位置し、東側が宇佐市と隣接しており中心市街地より約7kmはなれております。地区内には、歴史的建造物等が多数点在しており自然豊かな地域であります。地区内は、旧4町村との合併に伴ない大型のし尿処理場の新設事業も実施中であり、地域のまちづくりが地域交流を含め望まれている状況である。

課題

三保地区は、人口及び人口密度が少なく、中心市街地及びその周辺地区にくらべ少子高齢化が進んでおり地区全体に活気が失われています。中心市街地から離れているため市民の交流を行う施設が三保公民館・古森隣保館しかなく、その公民館・隣保館も老朽化が進んでいます。バリアフリーも十分ではなく高齢者・障害者に不評です。また、駐車スペースの確保も十分ではない(公民館は、6台分)ため、遠方から来館する方からも不満がでています。その為、公民館の利用者(H16年度)が旧中津地区の公民館では、最も少なくなっています。その為、新たに市民の交流の場として生涯学習や、福祉施策を行う中心となる施設を整備し、地区住民の活性化を図る必要があります。

将来ビジョン(中長期)

中津市アクションプログラムを達成するため、地区の歴史・風土・環境に根ざした生涯学習に加え福祉の増進の一環として、地区民やボランティア団体等が高齢者・障害者・1人親家庭等へのサービス提供の拠点となる三保交流センターを整備し、3世代交流や学社連携を促進し市民交流の場を構築し、すべての世代の地区民の活性化を図る。また、古森隣保館を完全バリアフリー化や十分な駐車スペースを確保を行い利用者が使用しやすい施設とする。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
交流センター年間のべ利用者数	人/年	年間のべ利用者数(公民館)	中津市の最も新しい南部公民館(中心市街地区内)の利用率の平均53.0%を目標とする。 利用率=年間のべ利用者数/三保地区人口×100	5,676人/年	平成16年度	11,750人/年	平成21年度
隣保館の利用率の増	人/年	高齢者の利用・2階部分を活用した利用の増(隣保館)	平成16年度児童館事業・隣保館事業利用者の1割増	4,181人/年	平成16年度	4,600人/年	平成21年度
地区内の交通事故の減	%	事故件数の減(通学路における危険度の軽減)	三保小学校5・6年生へのアンケート調査により通学時危険を感じた児童の比率を出し2割減	6.0%	平成16年度	4.0%	平成21年度
耐震化率の増	%	三保地区における避難場所の耐震化の度合い	三保地区避難施設の耐震化率1割から5割まで上げる。	10%	平成18年度	50%	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・周辺の自然環境に調和した住環境の整備のための道路整備 市道の幅の拡張又は改良、修復し、地区中心部及び中心道路への通行を円滑にし、周辺の自然環境に調和した住環境を整備を行う。</p>	<p>・道路事業(古森3号線) ・道路事業(福島洞ノ上線) ・道路事業(三保地区道路修繕)</p>
<p>・活気あるまちづくりの為、地区中心部に市民交流の拠点を整備 地区中心地に多目的・多機能(災害時には、避難場所となる)な市民交流センターを地域の核として整備し、活気あるまちづくりを実現する。古森隣保館を改築し、利用しやすい施設とする。</p>	<p>・高次都市施設(三保交流センター建設事業)</p>
<p>・古森隣保館にエレベーターを設置改修し、利用者の利便性を向上し利用を促進する。 古森隣保館にエレベーターを設置すると共に改修し完全バリアフリー化を行い、すべての利用者が利用しやすい施設として今まで利用しなかった方への利用を促進させる。 ・三保小学校は、地域防災計画上の避難所に定められているが、耐震性が低く、老朽化しているため、耐震補強を行い、地区住民の安全・安心に向け、避難所としての機能を確保する。</p>	<p>・基幹事業(地域創造支援事業/三保小学校体育館耐震改修事業) ・提案事業(地域創造支援事業/古森隣保館エレベーター設置・改修工事) ・提案事業(地域創造支援事業/三保公民館解体・整地) ・提案事業(地域創造支援事業/三保小学校体育館(トイレ)改修事業)</p>
<p>その他</p>	

< 都市再生整備計画の整備方針等 >

[記入要領]

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	365	交付限度額	149	国費率	0.408
---------	-----	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		古森3号線	中津市	直	L=270m	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	56	56	56		56
		福島洞ノ上線	中津市	直	L=80m	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度	6	6	6		6
		道路修繕	中津市	直	L=100m	平成19年度	平成21年	平成19年度	平成21年度	3	3	3		3
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		三保小学校体育館	中津市	直	-	19	19	19	19	21	21	21		21
高質空間形成施設		-			-									
高次都市施設		三保交流センター	中津市	直	-	18	19	18	19	235	235	235		235
既存建造物活用事業		-			-									
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										321	321	321	0	321

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	隣保館改修(エレベーター設置、改修)	古森隣保館	中津市	直	-	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度	28	28	28		28
	三保公民館解体・整地	三保公民館	中津市	直	-	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	8	8	8		8
	三保小学校体育館改修事業	三保小学校体育館(トイレ)	中津市	直	-	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	3	3	3		3
事業活用調査	事業効果に関する分析調査	-	中津市	直	-	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	5	5	5		5
まちづくり活動推進事業		-			-									
合計										44	44	44	0	44

合計(A+B) 365

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
合計											0

中津市三保地区(大分県中津市) 整備方針概要図

目標 基本方針…区域内の道路及び生涯学習・公共の福祉の場としての三保市民交流センター(仮称)の整備により地域の活性化を図るとともに、緊急避難施設の耐震性強化を行い住民の安全・安心な環境を確保する。 1. 周辺の自然環境に調和した住環境の整備 2. 三保地区の中心地に三保市民交流センター(仮称)を整備し、市民交流を図るとともに生涯学習及び福祉利用の増進をも促進する中核施設とする。 3. 古森隣保館にエレベーターを設置し、利用者の利便性を向上し利用を促進する。	代表的な 指標	年間のべ利用者数 (人/年)	5,676	(16年度)	11,750	(21年度)
		隣保館の利用率の増 (人/年)	4,181	(16年度)	4,600	(21年度)
		児童が通学時危険を感じる率 (人/年)	60%	(16年度)	40%	(21年度)

